

※21年3月期・22年3月期及び21年3月末・22年3月末の計数は、旧池田銀行と旧泉州銀行2行単体の単純合算です。

■ 損益状況(単体ベース)

(単位:百万円)

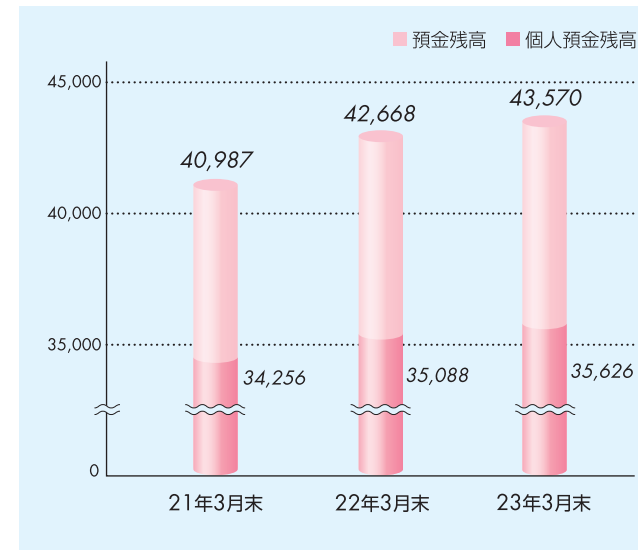
科目	平成21年度	平成22年度
業務粗利益	72,782	74,439
資金利益	61,937	60,823
役務取引等利益	2,141	3,515
その他業務利益	8,703	10,100
経費(△)	50,380	48,972
うち人件費(△)	23,094	23,511
うち物件費(△)	24,799	22,959
コア業務純益	14,002	16,472
業務純益	16,582	22,057
経常利益	3,943	5,786
与信関連費用(△)	11,407	13,201
当期純利益	△4,636	6,343

平成22年度は、投資信託・保険販売手数料が好調に推移したほか、国債等債券損益の計上により、業務粗利益は744億39百万円となり、業務粗利益から人件費・物件費等の経費並びに一般貸倒引当金繰入額を控除した業務純益は220億57百万円となりました。

また、業務純益に不良債権処理額並びに株式関係損益などの臨時損益を加減した経常利益は57億86百万円となり、特別損益及び法人税等を計上後の当期純利益は63億43百万円となりました。

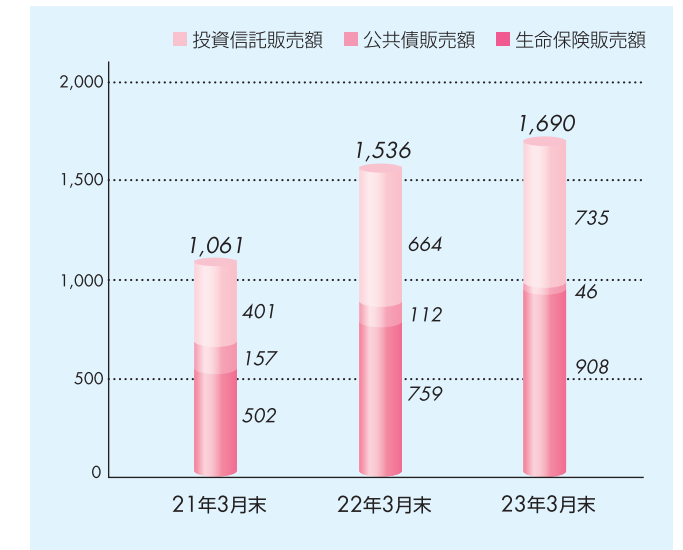
■ 預金残高

(単位:億円)



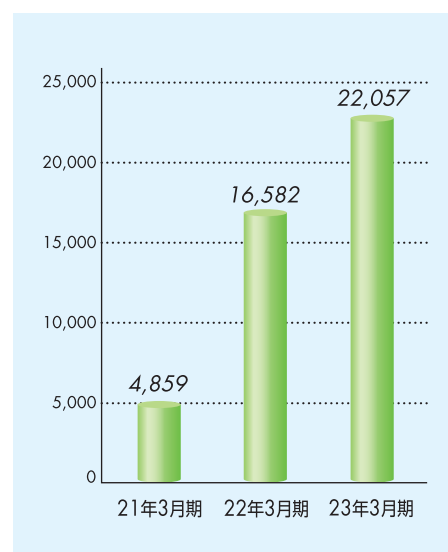
■ 預かり資産販売額

(単位:億円)



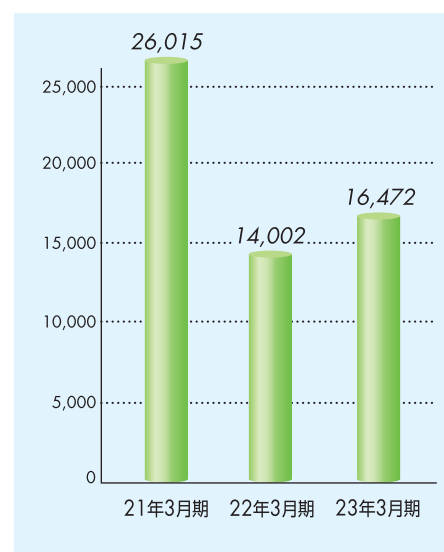
■ 業務純益

(単位:百万円)



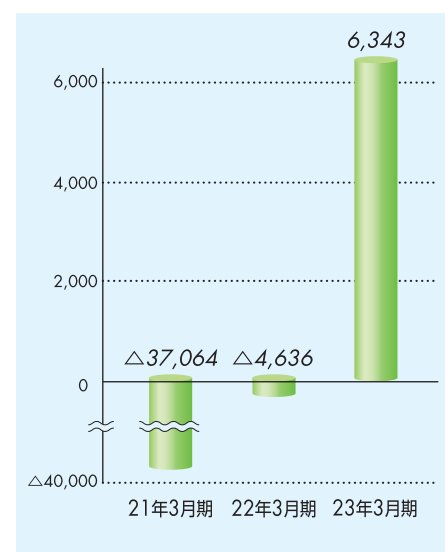
■ コア業務純益

(単位:百万円)



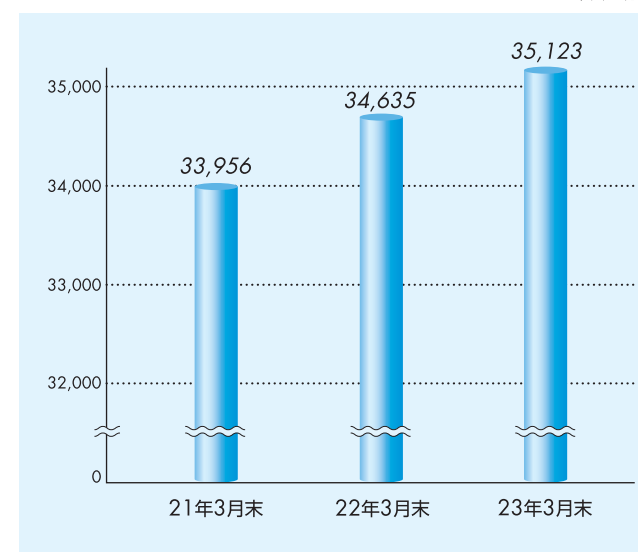
■ 当期純利益

(単位:百万円)



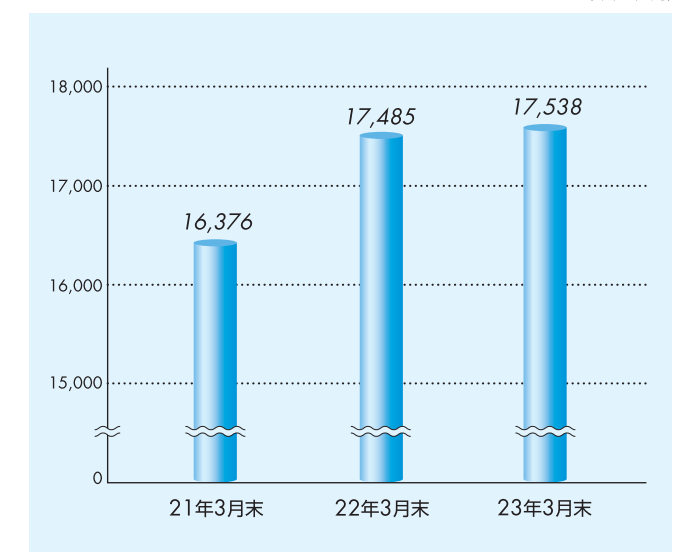
■ 貸出金残高

(単位:億円)



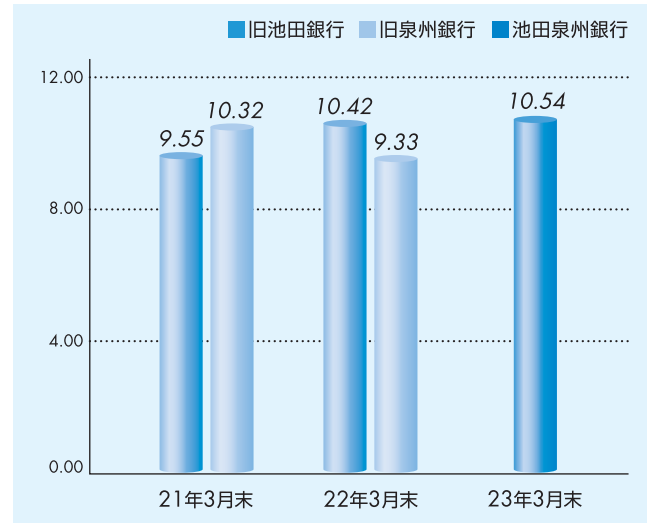
■ 住宅ローン残高

(単位:億円)



自己資本比率(国内基準・単体)

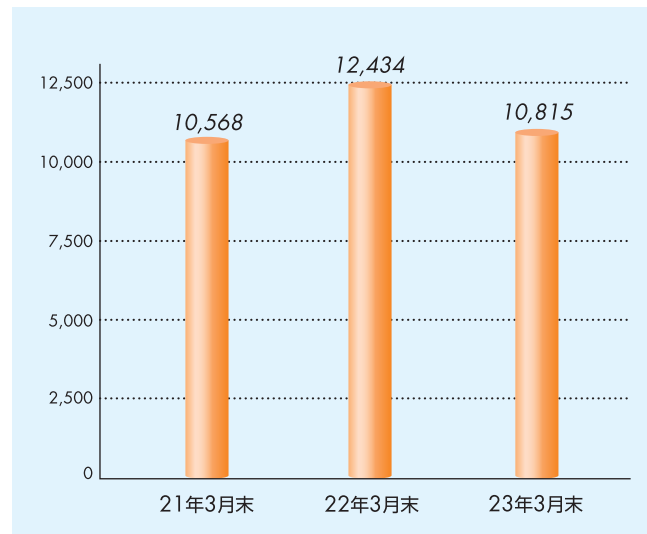
(単位:%)



※自己資本比率の計算方式(国内基準) $\frac{\text{基本的項目(資本金、剰余金等)} + \text{補完的項目(一般貸倒引当金、劣後ローン等)}}{\text{リスク・アセット等(信用リスク度合いを考慮した資産額)}} \times 100$

有価証券残高

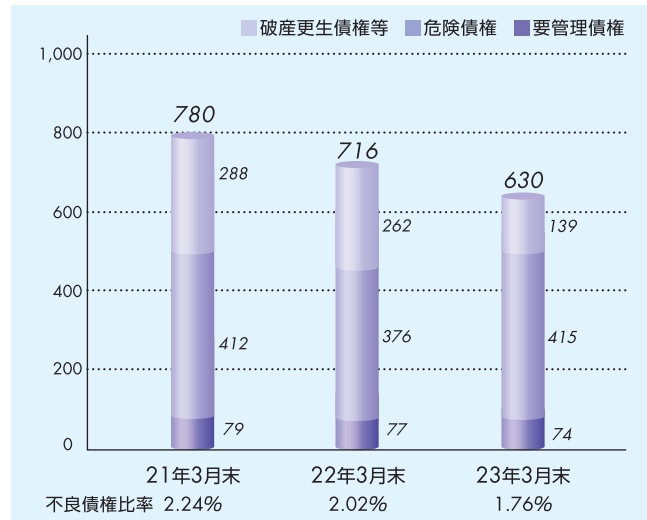
(単位:億円)



資産の健全化について

●金融再生法に基づく債権の開示

(単位:億円)



●平成23年3月期の保全状況

(単位:億円)

	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	139	139	100.00%
危険債権	415	382	92.12%
要管理債権	74	56	75.99%
合計	630	579	91.96%
正常債権	35,047		
		保全額:担保等による保全額+貸倒引当金	

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権のことです。

要管理債権

要注意先に対する債権のうち、3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当するものです。(要注意先:貸出条件、債務の履行状況、財務内容に問題があり、今後の管理に注意が必要な債務者。)

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに要管理債権以外のものに区分される債権のことです。

貸借対照表の要旨(平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	143,728	預金	4,357,005
買入金銭債権	1,270	譲渡性預金	24,300
商品有価証券	36	債券貸借取引受入担保金	172,725
金銭の信託	19,000	借入金	36,352
有価証券	1,081,565	外国為替社債	480
貸出金	3,512,391	その他負債	28,948
外国為替	6,210	賞与引当金	1,593
その他資産	34,321	退職給付引当金	6,440
有形固定資産	37,452	役員退職慰労引当金	372
無形固定資産	5,629	睡眠預金払戻損失引当金	309
繰延税金資産	36,017	ポイント引当金	41
支払承諾見返	23,487	統合関連損失引当金	717
貸倒引当金	△32,088	偶発損失引当金	465
		支払承諾	23,487
		負債の部合計	4,701,241
		(純資産の部)	
		資本金	50,710
		資本剰余金	104,361
		資本準備金	11,082
		その他資本剰余金	93,278
		利益剰余金	25,625
		利益準備金	1,152
		その他利益剰余金	24,473
		株主資本合計	180,698
		その他有価証券評価差額金	△12,895
		繰延ヘッジ損益	△19
		評価・換算差額等合計	△12,915
		純資産の部合計	167,782
資産の部合計	4,869,023	負債及び純資産の部合計	4,869,023

注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 貸出金のうち、破綻先債権額 3,304百万円、延滞債権額 51,704百万円、貸出条件緩和債権額 7,460百万円、その合計額 62,469百万円
- 単体自己資本比率(国内基準) 10.54%
- 担保に供している資産
有価証券 257,709百万円
その他資産 76百万円
担保資産に対応する債務
預金 15,586百万円
債券貸借取引受入担保金 172,725百万円
借入金 14,650百万円
上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、有価証券 76,639百万円を差し入れております。
- 1株当たり純資産額 3,100円33銭
6.1株当たり当期純利益金額 109円38銭

損益計算書の要旨

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	100,984
資金運用収益	73,036
(うち貸出金利息)	(56,861)
(うち有価証券利息配当金)	(16,084)
役員取引等収益	12,866
その他業務収益	12,465
その他経常収益	2,616
経常費用	95,197
資金調達費用	12,264
(うち預金利息)	(10,056)
役員取引等費用	9,351
その他業務費用	2,364
営業経費	50,536
その他経常費用	20,681
経常利益	5,786
特別利益	1,188
特別損失	407
税引前当期純利益	6,568
法人税、住民税及び事業税	82
法人税等調整額	141
法人税等合計	224
当期純利益	6,343

株主資本等変動計算書の要旨

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本		
前事業年度末残高	50,710	33,651	7,104	91,466	△7,421	84,045
当事業年度変動額						
合併による増加		70,709	17,941	88,651		88,651
剰余金の配当			△5,763	△5,763		△5,763
当期純利益			6,343	6,343		6,343
株主資本以外の項目の当事業年度変動額(純額)					△5,494	△5,494
当事業年度変動額合計	—	70,709	18,521	89,231	△5,494	83,737
当事業年度末残高	50,710	104,361	25,625	180,698	△12,915	167,782

